

風 かせ カゼ

2000. 6. 13発行 NO. 22

◇お正信偈について

お正信偈は真宗の門信徒にとっては、最も親しみがあり、又、最も大切なお聖教であります。それは親鸞さまがご本典（教行信証）の中にお書きいただいたもので、阿弥陀如来のご本願のいわれを、大無量壽經というお経の中から他力本願と明示され、加之、インド・中国・日本からの七人の高僧のご領解を韻文の形式を用いて集大成されたものなのです。信心正因・称名報恩という浄土真宗の要が説かれていると言われていいます、蓮如さま（今から約500年前の方）はこの宗教詩（正信偈）を日常の勤行にと一般大衆にお奨め下さいました。それが今日まで続いているのです。有り難いことです。

◇出会い・出遇い

人生は出会いの連続であると言われます。何に出い何に出会わなかったか私の人生を形成しているとも言えるかも知れません。しかし、同じデアイでも単なる通過点としての出会いで終わるか、人生に大きな意味を拵つ出遇いなるかが、問われることです。

ご和讃に「本願力ニ遇イヌレバ、ムナシクスグル人ンナシ」とお示しいただいております。空しい人生を過ごさないためにも尊いみ教えに遇わせていただきたいことです。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

現在は

過去の集積である

未来の人生は

今重ねつつある